

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



充電式インサート交換ドライバー発売

充電式インサート交換ドライバー「DTD500」発売 チップ交換・コーナーチェンジの作業時間大幅削減 工作機械加工の生産性向上に役立つDTD500新登場

作業時間を削減 業務の標準化実現

京セラインダストリアルツールズは、インサート(チップ)の交換・コーナーチェンジの作業時間を大幅に削減し、工作機械加工の生産性向上に役立つ充電式インサート交換ドライバー「DTD500」を発売した。

本ドライバーは、これまで手工具のレンチで行っていた作業が素早く行え、トルクレンチとしてインサートの推奨トルク値に締め付けることができる。

簡便で高精度なインサート交換作業により、作業時間の大幅削減だけでなく業務の標準化が実現でき、生産性向上に寄与する。

充電式インサート 交換ドライバー 「DTD500」

インサート(チップ)は、工作機械による高精度な切削加工に使用されるカッターに付いている切れ刃のことで、こ



のインサートには寿命があるため、定期的な交換やコーナーチェンジ(※1)が必要となる。

交換は、これまで手工具のレンチでネジのゆるめ・締付けを行い、トルクレンチでインサートの推奨トルク値で締まっているか確認を行っていた。

主要加工の一つであるフライス加工においては、インサート数の多いカッターが主流になっているため、交換やコーナーチェンジに掛かる多くの作業時間や労力が課題となっているほか、さらに、作業者の技量によって作業時間や精度に差がでることも作業の属人化という点で課題になっていた。

今回、発売した充電式インサート交換ドライバー「DTD500」は、同社独自の技術により業界初(※2)の電動ド



ライバー機能と、任意のトルク値で締め付けられるトルクレンチの2つの機能を持った商品で、簡便で高精度なインサートの交換作業を可能にし、作業時間の大幅削減、ならびに業務の標準化を実現し、利用者の生産性向上に貢献する。

DTD500の特長

①業界初(※2)の1台2役で作業時間を大幅に削減

充電式インサート交換ドライバーDTD500は、電動でネジのゆるめ・締付けを素早く行い、トルク値の確認は手動による増し締めで設定したトルク値に達する。

クラッチが作動しインサートの交換、コーナーチェンジ作業を素早く正確に行えるため、作業時間を大幅に削減す。

②任意のトルク値に簡単調節

本ドライバーは、本体のトルク調節ダイヤルを回すと中央にある目盛りが動き、1~5N・mの間でトルク値を任意の位置に簡単に合わせられ、設定したトルク値でクラッチが作動する。

③スムーズな作業をサポートする機能を満載

DTD500の本体形状は、小さな力でも回しやすいラウンド型グリップを採

用。電動のゆるめ、締付け時の操作は、押しやすい本体上部にプッシュオンスイッチを配置している。

■メーカー希望小売価格

充電式インサート交換ドライバー
DTD500：38,600円(税別)

■仕様・その他

電動最大トルク：1N・m

手動プリセットトルク：1~5N・m(ピッチ0.05N・m)

無負荷回転数：270min-1

チャック能力：六角対辺6.35mm

電源：3.7V、970mAh、リチウムイオン(内蔵式)

質量：0.55kg(内蔵電池含む)

サイズ：全長221mm×グリップ径50mm

■付属品

・トルクスビット 2本

(T8×65mm/T15×65mm)

・トルクスプラスビット 3本

(8IP×65mm/15IP×65mm/20IP×65mm)

・USB Type-C充電ケーブル(長さ1m)

■用語の補足

※1コーナーチェンジとは：摩耗したインサートの角(コーナー)の向きを変えること。

※2国内工具メーカーにおいて。(2024年3月同社調べ)

(※資料提供：京セラインダストリアルツールズ)

